



第27回

# 西能登やっチャ祭り

夏の一大イベント!

7/31日 11:30～ (花火は 20:00 頃～)

会場 千鳥ヶ浜

夏の砂浜で、綱引き大会や、よさこい、太鼓、テント市など、内容盛りだくさんです！  
夜は、間近で迫力の花火を楽しみましょう！皆さん、誘い合わせの上で参加ください！



## 参加募集

## やっチャ祭り杯 綱引き大会開催!

### ① 一般の部 20チーム

- ・1チーム8～10人とし、中学生以上から参加可能。
- ・試合は8人で引くこととし、選手の交代は自由。
- ・試合には女性2人以上の男女混合チームとする。
- ・女性のみ・中学生のみのチームの場合、ハンディキャップとして10人までで試合を行うことができる。
- ・綱引き連盟などに加入の者は各チーム3人まで。

### ② 小学生の部 20チーム

- ・1チーム8～10人とし、男女の混合を問わない。
- ・試合は8人で引くこととし、選手の交代は自由。
- ・小学校3年生以下がいる場合、ハンディキャップ3年生以下として1人に付き、3年生以下をもう1人追加で試合にできる。ただし試合に出場できる選手は10人以下。

**日時** 7月31日(日) 13:00～17:00  
(荒天の場合は中止)

**場所** 千鳥ヶ浜 (高浜漁協横、(株)ホクモウ付近)

賞品	① 一般		② 小学生	
	優勝…賞状、商品券	50,000円分	優勝…賞状、図書カード	50,000円分
準優勝…賞状、商品券	20,000円分	準優勝…賞状、図書カード	20,000円分	
第3位…賞状、商品券	10,000円分	第3位…賞状、図書カード	10,000円分	

- \*町内外に限らず、参加可能!
- \*一般の部は、地区や企業、仲良しグループ、サークルなど、何でもかまいません。
- \*全参加チームへ参加賞(スイカ1玉)を、熱中症対策にスポーツドリンクを1本用意!

申込 志賀町祭実行委員会 (商工観光課内) ☎32-9341 FAX 32-3978

有料広告欄

能登健康ランチビュッフェ 大人2,000円  
毎月8回限定営業!!

(株)スギヨファーム直営  
かろう おか  
ファーマースレストラン 香能の丘  
団体様予約制(10名から)  
個人様 電話にて要相談  
Tel:0767-54-0831  
石川県羽咋郡志賀町香能ろ 64

志賀千古温泉 Shi-on  
アクアパークシ・オン

- ・温泉 あさ 6時～午後 11時
- ・室内プール 午前 9時～午後 10時
- ・レストラン 午前 11時～午後 10時

※団体予約も承っております。☎ 0767-32-8555



## のとキリシマツツジ密集地「土田の郷」 13軒がオープンガーデン

樹齢100年以上ののとキリシマツツジを自宅で育てる「のとキリシマツツジ土田の郷センチュリー会」は、昨年4軒で始めたオープンガーデンを今年は13軒に拡大しました。地区の活性化を目指した取り組みで、同会では、マップを作成し、周遊して鑑賞できるようにしました。

能登地方には、江戸キリシマ品種群のツツジが群生し、日本一の規模を誇るとされています。奥能登や稗造などにも集積していますが、土田地区は約40軒が樹齢100年以上の古木を所有する、のとキリシマツツジ密集地です。

同会会長辻口さん方には、40本ののとキリシマツツジがあり、うち10本が樹齢100～150年以上。辻口会長は、「何世代も守り受け継いできたのとキリシマツツジは地域の宝。次世代の人に見てもらい、後世に残したい」と話しました。

5月初旬から深紅の花を咲かせたのとキリシマツツジを一目見ようと、オープンガーデンの上り旗を目印に大勢の人が訪れました。



④土田の郷オープンガーデンで咲き誇るのとキリシマツツジ。  
⑤辻口会長の家で夜のライトアップを開催。会員が集まり交流を深めた。



家族や施設の皆さんに囲まれ、祝福を受ける田中さん

## 町内で17番目の長寿 100歳おめでとうございます

5月6日(金)、栢木の前田シウさんが、アイリスで100歳を迎えました。庄田副町長が祝い状や祝い金を手渡し、「ますます健康で長生きしてください」と激励しました。前田さんは、「この度は、皆さんお集まりいただき、誠にありがとうございます」とマイクで話し、笑顔をみせました。

この日は、息子夫婦や、東京から孫やひ孫も駆けつけ、たくさんの家族に囲まれて、祝福を受けていました。

長寿の秘訣は、「粗食で腹八分目を心がけること」と答え、家族は、「若い頃からよく動いていたことも、長寿の秘訣では」と話しました。

志賀町立図書館の藤井裕子司書

## 子ども読書ポスター最優秀賞を報告

4月13日(水)、石川県子ども読書月間ポスターのイラストコンクールで最優秀賞に選ばれた志賀町立図書館の藤井裕子司書が守田教育長に喜びを報告しました。

イラストは、7人の子どもが泣いたり笑ったりしながら、虹の下で読書する様子を貼り絵で描いています。初の応募で、62点の中から選ばれました。藤井さんは、日頃から図書館内の装飾を手掛けたり、郷土史を基にした絵本の絵を描くなど画才を発揮し、人気を集めています。

「本を読むことで、色々な感情が湧くことを伝えたかった。この絵を見て本に親しむ子どもが増えることを願っています」と藤井さんは話しました。



イラストが採用されたポスターを紹介する藤井さん



## みんなの手で「世界一長いベンチ」を 世界一きれいなベンチに

5月19日(木)、増穂浦海岸を望む「世界一長いベンチ」で、ベンチの全面ペンキ塗り替えを行いました。町観光協会と富来商工会が主催し、富来小学校と富来中学校の児童生徒や(株)サカモト(吹付)など、ボランティアで集まった人々が参加。約130人がはけなどで、全長460.9mのベンチに、黄土色の水性ペンキを上塗りしました。

「世界一長いベンチ」は、日本海に沈む夕日を眺めることのできる観光名所として、旧富来町が1987年に整備しました。冬場の潮風による劣化が激しく、この上塗り作業は3年前から始まりました。「世界一長い」ベンチとしては、過去にギネスブックにも載ったことがあり、一度に1,346人が座った記録も残っています。

児童や生徒は、「きれいになったベンチを色んな人に見てほしい」、「観光名所として訪れた人たちに楽しんでほしい」との思いで作業をすすめていました。



黄土色のペンキで生まれ変わったベンチ



日本体育大学で、谷釜了正学長(里本江出身)と記念撮影

## 富来中3年生が修学旅行で 日本体育大学を見学

4月25日(月)から27日(水)の3日間、富来中学校3年生50人が、東京方面へ修学旅行に行き、日本体育大学を訪問しました。

例年までは、東京の企業見学などをしていましたが、昨年5月に町と大学が体育・スポーツ振興協定を結んだことから、今年初めて大学の校舎や体育施設を見学しました。

大学では、谷釜了正学長の話しを聞いたり、体操競技世界トップクラスの白井健三選手の練習風景などを見学したりするなど、生徒たちは貴重な体験をしました。

### 日本体育大学を見学して・・・

#### 3年1組 飯尾 耀

私は、オリンピックに出ている選手が普段どんな練習をしているのかを見ることができました。一番印象に残っているのは、体操の白井選手の練習姿を見ることが出来たことです。私たちが見ている白井選手はすごく集中して練習していて、すごいと思いました。私も白井選手のような集中力を身につけたいです。

#### 3年1組 佐藤 航

僕は日本体育大学で白井選手の練習を見ました。日本代表に選ばれている人の練習を見るという貴重な体験ができたことに、とても感動しました。テレビで見る感じとは違った白井選手の素の部分を見たり、日本体育大学の校舎や施設を見学することができて本当に良かったです。

#### 3年1組 山本 優花

私は日本体育大学の1つ1つの施設の大きさにとても驚きました。スポーツ専用のコートやグラウンドが備えられていて、迫力がすごかったです。ここへの訪問は、私にとって知らないスポーツの知識を深めることができた、とても良い経験でした。ぜひまた行ってみたいです。

#### 3年2組 浅野 知斗

大学の広さに驚きました。色々な施設があり、特にトレーニングセンターに興奮しました。個々に合った鍛え方ができると聞き、校内に1つあると便利だなと思いました。メダリストの白井選手の練習を見られたことが何より嬉しかったです。動きにすごく魅了されました。日本体育大学にたくさんの魅力を感じたので、僕も将来行きたいです。



志賀町おすすめの絶品はコレ！  
志賀町優良特産品

紹介  
コーナー

SATOHAMA MADE

太鼓好きのお菓子屋さんが作る  
和太鼓モチーフのお菓子を紹介します。

## 太鼓好きの魂がこもった和太鼓モチーフの洋風焼菓子。

しかはやてだいこ  
志賀疾風太鼓



石川県観光連盟推奨品。志賀町で盛んな和太鼓をモチーフにしたバター風味の焼き菓子。中には栗入り黄身餡が入り、店主が一つ一つ丁寧に仕上げています。



紹介  
する人

三代目：ほうだつ せいいち

寶達 清一さん

妻：ほうだつ たかこ

寶達 孝子さん夫婦

profile

二代目の父・秀平のもと、中学生から家業を手伝う。父が若くして亡くなり、金沢のお菓子屋で修行してから、22歳で宝達菓子店を継ぐ。趣味は太鼓。74歳。

profile

かほく市から志賀町に嫁ぎ、菓子屋の妻として働き50年。以前は銀行員として勤務し、お菓子屋という全く異なる職種を経験。趣味は、茶道や合唱。71歳。

販売期間 / 通年  
税込価格 / 1,300円 / 10個入箱

加工品

志賀疾風太鼓は、約30年前に私が考案した洋風焼菓子です。30歳で青年団に入った時、その仲間からの紹介で、地元太鼓団体「志賀疾風太鼓」に入りました。志賀町は昔から太鼓が盛んで、私も太鼓に夢中になりました。私は大バイを担当し、小バイの相手とたくさん練習しました。日本最古とも言われる小浜神社の県下太鼓打競技大会にも出場し、大関を

寶達清一さん 宝達菓子店は、百年以上の歴史があり、初代清太郎、二代目秀平、三代目清一と受け継いでいます。和菓子も作りますが、私は洋菓子職人なので、「志賀疾風太鼓」も洋風焼菓子です。中学の時から、二代目である父・秀平に習い、あんこをたいたり、配達を手伝って来ました。私が19歳の時、父がガンで亡くなりました。45歳でした。父の死で家業を継ぐことを決意。母・きくゑが店を切り盛りする間の2年間、金沢の洋菓子店で修行し、22歳でこの菓子店を継ぎました。2年後、妻と結婚し、夫婦でお菓子屋を続けてきました。毎朝4時半に起きて、二人でお菓子を作り始めます。朝は、いがらまんじゅう、えんどうもち、笹もち、羊羹などを作り、志賀疾風太鼓、カステラ、ケーキも順次作っていきます。

菓子屋とは全く違う仕事に就きました。自分たちが元気な限りは、店を続けていきたいと思っています。また、お菓子作りが自分たちの元気の源だと思っています。

とったこともあり。その折、太鼓仲間から、「太鼓にからんだお菓子を作ってくれ」との話があり、太鼓のマーク「三つ巴」を刻印した焼菓子を作りました。栗入りの黄身餡を生地で包み、木型に丸く形をとつてから刻印を押し、オーブンで焼きます。焼菓子の名前は、自分が所属する「志賀疾風太鼓」の名前をいただきました。包装紙は、海を背景に太鼓を打つ勇ましい姿の絵柄にし、太鼓が盛んな志賀町らしい商品にしました。石川県観光連盟推奨品にもなり、長年、多くの注文をいただき、嬉しい限りです。結婚して、50年。夫婦二人三脚でお菓子屋を続けてきました。妻は、茶道をやっているためか、お菓子の味にはうるさく、色々と批評してくれ、味の開発をしてくれました。子どもや孫は、お



問 宝達菓子店 ☎ 32-0113

(高浜町ツ41-1)

メールアドレス : houdatu@snet.net

道の駅ころ柿の里旬菜館でも販売中！

(末吉新保向 22-1) ☎ 32-4831

